

## 1 検討委員会の概要について

基本計画の策定にあたり、有識者などで構成される『野々市中央公園拡張整備事業 基本計画検討委員会』を設置し、様々な観点からの意見をいただいた（全4回）。

### 第1回（R4.10.12）

- ・ 体育施設整備実施計画の概要説明
- ・ 基本計画の内容、策定に向けた取組
- ・ サウンディング調査結果（中間報告）

### 第2回（R5.3.30）

- ・ 民間事業者の意見も踏まえた計画諸条件の見直し
- ・ 民間事業者の提案に基づく配置イメージ図の提示
- ・ 市民ニーズ調査の実施

### 第3回（R5.8.28）

- ・ 市民ニーズ調査とりまとめ報告
- ・ 基本方針および整備方針

### 第4回（R6.1.12）

- ・ これまでの検討委員会の意見とりまとめ
- ・ 基本方針および基本計画概要版

## 2 検討委員会での意見とりまとめ

### 1. 公園に関する意見

#### ●子育て世代や高齢者に配慮した公園整備

- ・本市は平均年齢が低く、若い人が多い。平均寿命の長さも全国トップクラスである。健康への意識が高い市民が多い自治体の特徴を踏まえて公園整備を検討する必要がある。
- ・地域性を伴った、身近で、次の世代を育てることができる公園とすることが望ましい。
- ・交通安全や防犯の観点から、安心・安全が確保でき、市民が心を許せる場所・環境の形成が必要。

#### ●多目的な利用が可能な広場の整備(芝生広場)

- ・子どもたちが自由に走り回れるグラウンドや芝生広場など、子どもたちが健やかに過ごすことができる広場があれば十分である。

#### ●まちなかにおける緑や自然環境の保全・活用

- ・本市は森林等の保全すべき緑地環境がないため、数少ない自然環境を保全・整備するなどを検討することも重要である。
- ・公園内の施設の配置について、まちに向けて公園を開く工夫が必要。
- ・規模の大きな公園であるため、公園全体のランドスケープが難しい課題となる。公園の風景が大きく左右されることに留意してもらいたい。

#### ●特色を活かした野々市ブランドの向上

- ・本公園が国際優秀つばき園に認定されていることもあり、拡張整備を機に椿山の拡張や、指定管理者のノウハウによるPRの充実など、野々市ブランドの向上を期待したい。

- ・周辺施設との連携や本公園がどのような空間配置を行うのか、都市として・地域として必要な機能は何かなど、整理が必要。
- ・環境についても配慮し、使用材料を工夫するなど、可能な限り温室効果ガスを抑制した整備内容となり得る整備とすることで、地球環境に配慮した取組であることを市民に示すことができるのではないか。

#### ●健康志向のための市民の意識醸成

- ・誰もが利用しやすい施設となるように、整備内容や仕組みについて工夫が必要である。
- ・身体を動かすことを楽しむ人を育てることが市としての役割である。

### 2. 施設に関する意見

#### ●市民ニーズに応じた整備

- ・市民が要望する最低限の機能を有する公園整備でよいと考える。近隣自治体に高規格のスポーツ施設があるため、大規模な大会等の利用は連携することが望ましい。
- ・本公園が求められる機能を明確化し、想定するターゲットを明らかにしたうえで、市としてどのような機能が必要なのか検討が必要である。

### 3. その他の意見

#### ●適切な防災機能の整備・拡充

- ・災害リスクについて検討を行い、本公園に求められる防災機能を明確化したうえで、適切な防災機能の導入を行う必要がある。
- ・学校や病院といった周辺施設の立地状況を適切に考慮し、拠点施設としての機能や対応の検討が必要。
- ・全国的にも想定外の大規模災害が発生していることから、防災施設や復興拠点になり得る施設が必要。

#### ●市の財政状況に見合った整備（身の丈にあった整備）

- ・民間事業者の意見を全て反映するほどの財政的余裕はなく、全ての施設を一括で整備することは困難であり、段階的な整備・市民と作る公園を検討すべき。
- ・既存施設の有効活用など、大規模な施設を新しく作るばかりではなく、既存施設を有効活用することも野々市らしい取組となるのではないか。
- ・長期的な視点から、将来的なニーズの変化等に柔軟に対応でき、可能な限り財政支出を抑制または収益を生むようなものとし、将来世代の負担とならないような公園としてもらいたい。

#### ●民間事業者の知恵やノウハウを上手く利活用

- ・民間事業者のノウハウや資金の活用により、維持管理・運営も含めた検討や、利用率の向上・収益還元等のメリットも見込める。民間事業者のアイデアは上手に活用すれば良い。
- ・公共施設として収益確保よりも市民利用を優先する考えはもっともだが、民間事業者の創意工夫によるとり組みが阻害されないように留意する必要がある。